



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙ほか. 京都帝國大學文科大学考古學研究報告 1918, 2

ISSUE DATE:

1918-07-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/181580>

RIGHT:

大正七年三月三十一日

# 京都帝國大學文科大學考古學研究報告

第二冊

〔河內國府石器時代遺跡發掘報告等〕

京都帝國大學發行

一、河内國府石器時代遺跡發掘報告……………濱田耕作

一、河内國南高安及び喜志石器時代遺跡調査……………〔梅原貞彦〕

一、河内國府肥後轟等にて發掘せる人骨に就て  
報じ併せて石器時代の住民に及ぶ……………醫學博士 鈴木文太郎



## 序言

本冊は大正六年六月河内國南河内郡道明寺村大字國府に於ける石器時代遺跡の調査發掘の結果を記述せるものにして、なほ此の遺跡を距ること遠からざる同國中河内郡南高安村及南河内郡喜志村の石器時代遺跡に關する踏査の概況を附載したり。蓋し此等の遺跡は其の性質に於いて前者と頗る密接なる關係を有するものあればなり。

余輩は此の發掘調査に關して本山彦一君、福原潛次郎君が當初より各種の助力と厚意を與へられたるを感謝し、又た本學文科大學講師文學博士喜田貞吉君、同教授文學博士内田銀藏君、同教授理學博士小川琢治君が公私尠からざる援助を與へられ、實地の踏査視察の勞を吝まれざりしを感謝す。殊に又た人骨の調査に關しては、本學醫科大學教授醫學博士鈴木文太郎君、同醫學博士足立文太郎君が自ら國府村に出張して、其の勞を分れたるのみならず、鈴木教授は其の多忙なる時間を人骨の整理及研究に割かれ、此の報告書出版に際しては、其の研究調査の一端を寄稿せられし厚意に向つて多大の謝意を表せざるを得ず。但し同博士の意見學説は固より吾人の私見とは獨立のものにして、互に何等の束縛を有せざるは云ふ迄もなし。又た發見の獸骨に關しては、第三高等學校教授穴戸一郎氏の鑑定を煩はしたるは、同氏に對して深く感謝する所なり。

此の發掘調査に關して吾人は更に道明寺土師神社司南坊城良興君及大阪毎日新聞社員岩井武俊君が各種の便宜を與へられしを感謝すると共に、田澤金吾君が吾人の囑に應じて始終

發掘の事業に携はれたるを銘記せざるを得ず。又た本教室助手島田貞彦君及教務囑托梅原末治君は發掘調査と本書出版に關して常に其の助力を傾倒せられ、殊に梅原君は余の報告中\*點を附したる各項を執筆せられしを感謝す。又た本報告書は主として我國學界に貢獻するの意を以て成りしものにして、第一冊には單に目次の類を英譯して附載せるに過ぎざりしが、其の後ベトリイ教授等の熱心なる慫慂あり、今ま其の梗概を譯して卷末に附することゝせり。之に關しては本學講師クラーク君の懇切なる校閲を経たるものあり、茲に感謝の意を表す。

挿入の圖版は多く桑名文星堂の撮影調製する所にして、其の盡力構意の尠からざりしを喜ぶ。又た人骨の寫眞は鈴木教授の手寫に係るものより之を復寫し、なほ Sir John Evans :—Ancient Stone Implements of Great Britain 中より其の圖を轉載せるものあり、一々圖版目次の下に記して負ふ所を明にす。其他の圖面は悉く著者及梅原、島田兩君の手に成りたるものなり。

大正七年三月

# 目次

## 河内國國府石器時代遺跡發掘報告

文科大學教授 文學士 濱田耕作

第一章	序論	一頁
第一節	遺跡發見の由來と發掘の動機	一
第二節	發掘地の選定と發掘前の狀態	四
第二章	發掘	七
*第一節	A地點に於ける發掘の經過	七
*第二節	B地點に於ける發掘の經過	九
第三章	遺物	一三
第一節	石器	一三
*第二節	土器(一)	一六
第三節	土器(二)	二〇
第四節	人骨附獸骨	二三
第四章	後論	二九

第一節	大形粗石器に就きて	二九
第二節	土器の系統	三五
第三節	國府發見の人骨と人種問題	四三

## 河内國南高安及び喜志石器時代遺跡調査

文科大學教務囑托 梅原末治

文科大學助手 島田貞彦

## 第一章 南高安の遺跡

第一節	遺跡の狀態	五〇
第二節	石器	五二
第三節	土器	五五
第二章	喜志の遺跡	五八
第一節	遺跡の狀態	五八
第二節	遺物	五九

河内國府肥後轟等にて發掘せる人骨に就いて報じ併せて石器時代の住民に及ぶ 六一

醫科大學教授 醫學博士醫學士 鈴木文太郎

# 圖 版 目 次

本文參照頁

卷 首	國府村及高安村附近地圖 (陸地測量部二萬分一地形圖縮寫分載) .....	五
第 一	國府村遺跡地を東北方より望む .....	五
第 二	國府村遺跡發掘地略圖 (島田、田澤製圖) .....	五、七、九
第 三	國府村遺跡兩地點發掘區域平面及斷面圖 (實測) .....	七、九
第 四	(1) 國府村發掘地全景 .....	五
	(2) A 地點發掘後の光景 .....	八
	(3) B 地點發掘中の光景 .....	九
第 五	(1) 國府村 B 地點西側人骨の發掘 .....	一〇
	(2) 同上東側人骨の發掘 .....	一〇
	(3) 同上發掘の完成 .....	一〇
第 六	國府村 A、B 兩地點發見石器 .....	一三
第 七	國府村 B 地點發見石器 .....	一三
第 八	國府村 A 地點發見土器 .....	一七、一八
第 九	國府村 A 地點發見土器 .....	一八
第 十	國府村 B 地點發見土器 .....	一七



第十一	國府村 B 地點發見土器	一九
第十二	國府村 B 地點發見土器	一九
第十三	國府村 B 地點發見土器	一七、一八
第十四	國府村 B 地點發見土器	二〇
第十五	國府村 B 地點發見土器	二〇
第十六	(1) 國府村 B 地點發見曲玉形 (2) 同上管玉 (3) 齋瓮蓋坏	一四、一六、二二
	(4) 同上 A B 兩地點發見古瓦斷片	二二
第十七	(3) 國府村 B 地點東側人骨下齧骨國府村 B 地點東側人骨	一〇
	(1) 發見 (2) 同上西側下齧骨	二三
第十八	南高安村字恩智發見石器	五二、五三
第十九	(1) 南高安村字恩智發見石器	五二
	(2) 同上發見土器	五五、五六、五七
第二十	南高安村字恩智發見土器	五五
第二十一	南高安村字恩智發見土器	五六、五七
第二十二	南高安村字恩智發見土器	五六、五七
第二十三	南高安村字恩智發見土器	五五、五六、五七
第二十四	喜志村字喜志發見石器	五九

# 挿圖目次

第一圖	國府村發見石庖丁圖(京都文科大學藏).....	一三頁
第二圖(イ)	國府村B地點發見繩紋土器形式圖.....	二一
第二圖	國府村A B兩地點發見土器形式圖.....	對 二二
第三圖	國府村發掘及南高安村發見土器模樣圖拓本.....	對 二二
第四圖	國府村發見大形石器(一).....	對 三二
第五圖	國府村發見大形石器(二).....	對 三二
第六圖	佛國プレシニー發見石器殘石(エダアス氏).....	三三
第七圖	南高安村恩智發見土器形式圖.....	對 五六
第八圖	各地發見磨製石斧圖.....	五四
第九圖	國府村B地點發見大腿骨體中央斷面圖(鈴木博士).....	六三
第十圖	國府村B地點發見脛骨體中央斷面圖(鈴木博士).....	六三
第十一圖	肥後轟貝塚及備中津雲貝塚發見頭骨(鈴木博士).....	對 六四
第十二圖	肥後轟貝塚及備中津雲貝塚發見頭骨正中匡線(鈴木博士).....	六四

大正七年七月十八日印刷  
大正七年七月二十日發行

發行者

# 京都帝國大學

京都市下京區北小路新町西（弘文社）

活版印刷人

須磨勘兵衛

寫真版印刷人

桑名節

京都市上京區寺町通夷川下ル

東京、京都、大阪、福岡、仙臺

賣捌所

丸善株式會社

京都市上京區寺町通夷川下ル

桑名文星堂



**REPORT**  
**UPON**  
**ARCHÆOLOGICAL RESEARCH**  
**IN THE**  
**COLLEGE OF LITERATURE,**  
**KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY.**

*Volume 2.*

*March, 1918.*

---

Report on the Excavation of a Neolithic Site at Kô,  
in the Province of Kawachi ..... By Professor KÔSAKU HAMADA.

Notes on Neolithic Sites at Takayasu and at Kishi,  
in the Province of Kawachi ..... By SUEJI UMEHARA.

On the Human Skeletons found at Kô, Kawachi, and  
at Todoroki, Higo, with some Remarks on the  
Stone Age People in Japan ..... By Professor Dr. BUNTARÔ SUZUKI.



PUBLISHED

BY

**THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY**

---

**1918**